



編 集 高 原 町 教 育 研 究 所 発 行 平 成 2 1 年 1 0 月

高 原 町 \mathcal{O} 児 保 護 童 者 \mathcal{O} 生 徒 皆 さ \mathcal{O} ま 4 な さ ん ^

所 L て \mathcal{O} 高 取 先 原 \neg 組 小 生 町 を • 方 教 研 中 育 究 学 委 各 L 生 学 員 \mathcal{O} 校 会 Ł 玉 で 5 語 名 は 0 \mathcal{O} \mathcal{O} て 基 先 町 1 礎 生 内 $\overline{}$ 学 \mathcal{O} す 力 に 教 育 を お 高 研 願 \emptyset 11 究

る

_

て

ま

 $\sum_{}$

 \mathcal{O}

ポ

ケ

ツ

1

集

を

使

0

て

児

童

生

4 ポ な ケ 研 さ 究 ツ λ \vdash を に 集 進 \Diamond 玉 る を 語 中 作 \mathcal{O} で 0 学 7 習 \neg 使 な 小 ど 学 え る で 生 活 B 0 用 中 な ぎ 学 L て 生 言 ŧ \mathcal{O} 葉

5

う

 \mathcal{L}

と

に

L

ま

し

た

ち 場 \mathcal{O} 面 私 で た 人 な ち ど は 自 に 分 話 \mathcal{O} 学 L 考 校 た え B 1) を 家 友 庭 だ ま な た 5 ど B \mathcal{O} 自 先 1 分 生 ろ \mathcal{O} 11 考 お ろ え う な

文 を を 文 0 話 章 な す に ぐ لح 書 言 き 1 葉 _ た り $\overline{}$ P 接 L 続 書 7 語 < 1 と ま لح t す き 言 1 に ま す 文

と

た を 文 使 章 う 事 \bigcirc に ょ 前 لح 0 て 後 \mathcal{O} 0 話 な L が て り 11 が る ۲ 相 と 手 に P ょ 書 < 1

わ か る ょ う に な り ま す

す 徒 ま \mathcal{O} す 4 向 な 上 さ す W る \mathcal{O} $\sum_{}$ لح 話 を す 願 力 0 B て 書 11 < ま 力 す が ま

※ で V まる 読中方小す教「 ん学を学。科接 で生覚生 書続 みのえの で語 て皆て皆 はし くさ下さ ` Ø だんさん 小学 さはいは 学習 V) , ° , 校は 四 ` 復 何 習 口 年 現 す ŧ 生在 読 で使 る 学っ 0 W ŧ で 習て り 使 しい

理由を表す言葉

●というのも●なぜかというと

というのもなぜかというと

を使うときは、最後

それで

らから

~ので

をつけましょう。に「〜から、〜ので」

この言葉の仲間は、次のような時に使います。

①「ここから後が理由ですよ」ということを知らせる時

②理由を前で説明する時(それで)

③理由をはっきりと示す時(~から、~ので)

ポイント

いうことを考えて使おう。理由を前に書くか(話すか)と

《使い方》

0000…理由

『なぜかというと』

足りない**から**です。 このおもちゃは買えません。**なぜかというと**、お金が

『そのわけは』

が足りなかった**から**です。 この問題は全部できませんでした。**そのわけは**、時間

『というのも』

てしまった**から**です。 今日はおふろに入れません。**というのも**、足をけがし

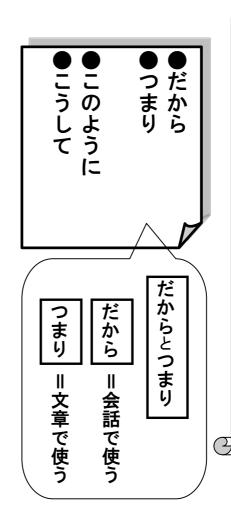
『それで』

中止になった。中止になった。それで、今日の運動会は

『〜から』『〜ので』

この前は泳げた**ので**、自信があります。 記録が出なかったのは、練習していなかった**から**です。





①理由(原因)と結果(こうなった)をつなぐ時

②文章をまとめる時(このように、こうして、つまり)

ポイント

- ①は理由と結果をつなげる言葉なので、理由と結果がな
- 使えないよ。②を使う時には、例や様子などを前に書いておかないと

《使い方》

000…理由

□□□…結果

『だから』

今朝はねぼうしてしまった。**だから、**学校に遅刻した。

『つまり』

ていました。**つまり**、出かけられないということです。 車で出かけようと思いました。ところが、車が故障し

『このように』

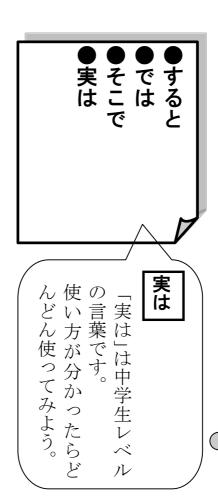
このように、車というのは便利なものです。行けます。キャンプの時、車の中でねることができます。車の中は雨の日でもぬれません。車では色々な場所に

『こうして』

しばって練習しました。さか上がりができるようになりたいと思って、歯をくいかな。」とくじけそうになることがありました。でも、暑い日もがんばって練習しました。時々「もうやめよう」にくは、毎日さか上がりの練習をしました。雨の日も

こうして、ついにさか上がりができるようになりまし

話を広げるための言葉



この言葉の仲間は、次のような時に使います。

①ある内容について、さらに話を広げる(展開する)時

ポイント

にしよう。の言葉を使う前には、必ずもとの話を書く(話す)ようの言葉を使う前には、必ずもとの話を書く(話す)ようこの言葉は「話しを広げる」時に使うことばなので、こ

た方がいいときがあるよ。話を広げる時には、話の内容によって段落を分けて書い

《使い方》

『すると』

すると、勝手にドアが開きました。たかお君は、ドアの前に立ちました。

『では』

を使っています。 人間は、普段の生活の中で、必要に応じて様々な道具

のでしょうか。 では、人間以外に道具を使って生活する動物はいな

『そこで』

を立てました。 そこで、たか子さんたちは、大きな家に引っ越す計画

『実は』

るのだ。 **実は**、このトリックはとても簡単な仕組みでできてい誰もいないはずの部屋に突然明かりがともった。

付付性加えを表す言葉せらに ●さらに ●また しかも また かりやすくなり かりやすくなり ます。 ます。

この言葉の仲間は、次のような時に使います。

らにくわしく説明する時。①前のことがらに付け加えたい時や前のことがらをさ

ポイント

使わないように気どれも二回続けて

をつけよう!

×悪い例

窓をみがいた。・・・ 部屋を片付けた。それから、引

《使い方》

『さらに』

かみなりも鳴り出した。空が急に暗くなり、大つぶの雨が降ってきた。さらに、

『ほかにも』

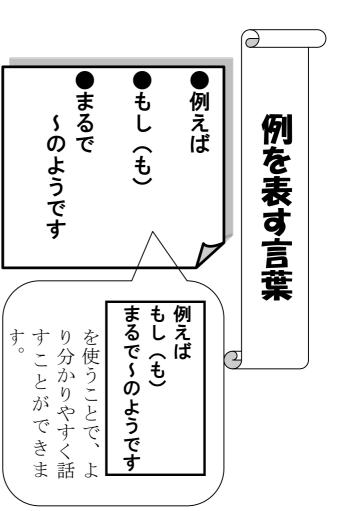
史を感じる場所にも連れて行ってくれた。 連れて行ってくれた。**ほかにも、博物館や資料館など歴**お父さんは私を、海や山など自然があふれるところに

『しかも』

大山くんはサッカーが上手だ。しかも、勉強もできる。

※ 何度も付け加えたい時

ったりした。他にもおかしを食べたり、ブランコにのに野球もした。他にもおかしを食べたり、ブランコにの園でサッカーをした。それからかくれんぼをした。さら回いが明け、久しぶりに友達と外で遊んだ。まず、公



- ②何か別の物に例える時(**もし(も)**)①具体的に例えをあげる時(**例えば**)
- ③そうだろうと考える時(まるで~のようです)

ポイント

③のどの例え方をするのがよく分かるかを考えて使い相手に伝わりやすくするために、話の内容によって①~ 分けよう。

《使い方》

『例えば』

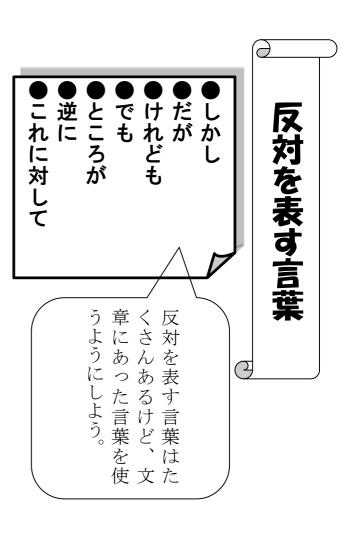
くだものには色々なものがあります。 例えば、りんご、なし、 かきなどが挙げられます。

もし、ドラえもんの道具があったら、ぼくは、どこで『もし(も)』 もドアで火星にいってみたいです。

『まるで〜ようです。』

べてしまいます。**まるで**、つりをしている**ようです。** ばらく待ちます。オオアリがかみつくと、引き出して食 チンパンジーは、ぼうを木の皮などにさしこんで、し

まるで□□□ようです。 まるで□□□です。



①前の文と反対のことを伝える時

しかし、だが、けれども、でも、ところが、逆に)

《使い方》

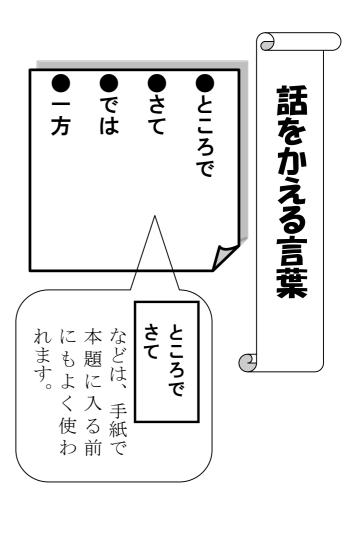
『しかし』

でも

で満点がとれるはずだ。ても辛い。でも、がんばって練習すれば、きっとテストでもくは、漢字が苦手だ。毎日漢字の練習をするのはと

『ところが』

ことができた。 ところが、後半に三点を取り返し、逆転で勝つまった。ところが、後半に三点を取り返し、逆転で勝つ前半は相手チームの調子が良く、二点リードされてし



① 話の内容をかえたり、話題をかえたりする時

ポイント

《使い方》

『ところで』

たかな。」ところで、この前かした本はどうだっろい本だったよ。ところで、この前かした本はどうだっ「昨日は、本を貸してくれてありがとう。とてもおもし

さて』

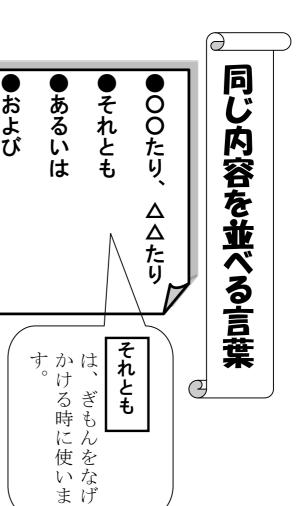
終わったし、まんがでも読もうか。」「今日のテストはむずかしかったなあ。さて、テストも

『では』

う動物をいくつか紹介しよう。 人間以外にも道具を使う動物がいる。**では**、道具を使

一方

は夕食の後、すぐに寝てしまった。彼女は試験に向けて夜中まで勉強していた。一方、彼



② 同じような内容を、続けて並べるときに使う言葉。

《使い方》

『〇〇たり、△△たり』

たりしました。とても楽しかったです。 学習発表会では、みんなでげきをしたり、 歌をうたっ

『それとも』

ですか。」 「あなたの家は、 学校から遠いですか。それとも近い

ポイント

には、必ず たり」を使う時

り」と二回続け て使おう!

×悪い例

サッカーをしたり、テレビを見て遊び昨日、友達の家に遊びに行きました。

◎良い例。

て遊びました。 サッカーをしたり、テレビを見たりし昨日、友達の家に遊びに行きました。

『および』

ます。 今回の参加者は六年生および、その保護者の方になり



最後に はじめに(まず) つぎに

〇つあります

一つ目は・・・

一つ目は・・・

ます。 く人にとって分か言葉を使うと、聞 りやすい文になり じゅんじょを表 す

《使い方》

『はじめに(まず)、つぎに、最後に』

遠足に行きました。はじめに、 バスに乗って御池に行

きました。

次に、公園でお弁当を食べました。 最後に、ゴミを拾って、バスで帰りました。とても楽

しかったです。

この言葉の仲間は、 次のような時に使います。

①時間の流れにあわせたり、いくつかの話を分かりやす く表現したりするときに使う言葉。

ポイント

最後に はじめに (まず)

〇つあります

と 二つ目は・・・

は、 それぞれセットで使おう!

ます。 わたしは、この一年間でがんばりたいことが**三つあり**

『〜つあります、一つ目は・・・、二つ目は・・・』

つ目は野球です。 う目は勉強です。

三つ目は家の手伝いです。

文章で書くときには、 分かりやすくなるね。 段落を分けて書くと



● しかも ^

意見を強く表す言意見を強く表すで使うと、よりなどで使うと、よりながではうと、よりのがある。

《使い方》

『それでも』

やめるわけにはいかない。 失敗の可能性は大きい。 **それでも**(そうであっても)

『しかも』

あの方はわたしの恩師で、**しかも**命の恩人だ。

この言葉の仲間は、次のような時に使います。

にもかかわらず

それどころか

① あることがらを強く主張する時。(**それでも、しかも**)

(それどころか、にもかかわらず)

2

前の内容と逆のことを強く主張する時。

『それどころか』

君に文句などない。それどころか感謝したい気持ちだ。

ポイント

使い分けよう。 前の文章の内容によって、①と②の意味を考えて言葉を

『にもかかわらず』

疲れがひどかった。**にもかかわらず**、がんばった。